



クラインガルデン。なんだか楽しそう！

クラインガルデンとは、ドイツ語で「小さな庭」。日本では主に「市民農園」を意味します。農園にはラウベと呼ばれる小屋と芝生、花壇、畑などが配置されます。また、利用者どうしが集うクラブハウスなどが整えられており、単なる菜園ではなく、コミュニティ形成の場として市民生活向上のために重要な役割を担っています。

そんなクラインガルデンが新潟県にも小千谷と妙高にあります。先日「おぢやクラインガルデン」を見学してきました。信濃川を望む高台に形成されたすばらしい環境に、30件の住居(風呂・トイレ付)と畑がありました。

農業指導員もいて、農機具は無料貸出なので、週末農業も可能。リタイアしたら週に2~3日通うのも楽しそうです。年間利用料は約40万円で、最長5年まで借りることができるとのこと。今年の募集は終わりましたが、「将来的には、ぜひ利用してみたいなあ。」と思う素敵なおとこでした。



小千谷市 HP より掲載

「Eco列車でいこう！」~第143回~ 今年も「夏のおもいで」。尾瀬。

(CO2排出量の少ない交通機関での旅行や、心が豊かになるような旅行を紹介するコーナーです！) 

7月18日(日)。仲間たちと新潟市を朝4:30に出発。関越道小出ICから奥只見シルバーライン、銀山平からクネクネ国道経由で、「御池駐車場」に8:15に到着。「沼山峠」までバスで移動し、いよいよ入山。今年も尾瀬に戻ってきた。

快晴の下、活動開始。まずは軽い登り。ルンルン気分が快調に高度を稼いで、沼山峠のピークへ。そこから15分くらい下れば、視界が「バーン」と開けて、「大江湿原」に入る。「ニッコウキスゲ」や「ワタスゲ」などが見頃。天空のお花畑にテンションが上がる。

長い木道を尾瀬沼に向かって歩くが、写真を撮りパチパチ撮って、なかなか進まない。存分に大江湿原の華やかさを満喫して、「尾瀬沼ビジターセンター」へ。

13:00からのミニツアーを予約してから、尾瀬沼南岸を歩く。「三平下」の手前は、東北以北最高峰「燧ヶ岳(ひうちがたけ)」のビューポイント。そこを過ぎると、少し足下の悪い道になるが、数年前と比べれば、よく整備されてスニーカーでもOKだ。「沼尻」の分岐では、ハイカーが思い思いに休憩中。我々もコンビニスイーツで糖分を補給し、北岸を戻る。ビジセン近くの「長蔵小屋別館カフェ」でパスタランチ。山奥とは思えないウッディ調の店内。これも尾瀬の魅力だ。

最後は「尾瀬を感じるミニツアー。」ビジセンのスタッフさんが面白おかしく、尾瀬の花木や動物の説明をしてくれて、あっという間の30分だった。

雲行きが怪しくなってきた。名残惜しいが、足早に沼山峠へ戻る。

今年も「夏のおもいで」ができた。また来年も思い出し、また尾瀬に向かうのだろう。



「大江湿原」は「ニッコウキスゲ」が見ごろ。



日本百名山「燧ヶ岳」と「尾瀬沼」。



ミニツアーで尾瀬の魅力を学んだ。